

【一生感謝（1）感謝で閉じる一年】

今日の聖書本文：詩篇103篇1-5節・今週の暗唱聖句：第一テサロニケ5：18

説教者：鄭南哲牧師



愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！みなさんは2013年最後の礼拝であるこの時間、主の御前で振り返って見ると、幸せだったと思いますか。今年一年はみなさんにいかがでしたか。みなさんはもうすぐ閉じろうとする今年、どんな心構えでいらっやっていますか。また新しい2014年新年はどんな心構えで迎えようとしていますか。年末最近朝のディボシヨンの御言葉の本文が第二コリント人への手紙から、そしてある2冊の信仰の本を読みながら、教えられた一言がありました。それが“一生感謝！”という言葉でした。

今年最後の礼拝と2014年元旦礼拝の時は連続で一生感謝する事に共に主の御言葉から学んで、CPC家族のみんな共に感謝で2013年を閉じ、感謝で2014年新年を迎えたらと願います。今年の年末年始、続く感謝に対するメッセージを通して、主が今一人一人に望んでおられる、下さる主の命令として受け止め、このきっかけを通して、“一生感謝”する祝福された残りのみなさんの人生となりますように主イエスキリストの御名によって切に祈り祝福します。

<1. 一生感謝の人生はささやかな感謝から始まります。>

エリザベス・ノーベルという人が書いた「少し」という詩を紹介したいと思います。

「砂糖をほんの少し入れるだけで、料理の味を変えることができる。

石鹸をほんの少し使うだけで、体をきれいにすることができる。

日差しがほんの少し差し込むだけで、新芽(しんめ)が力強く育てられる。

鉛筆がほんの少し残っているだけで、美しい文を一筆(いっぴつ)書く事ができる。

ろうそくがほんの少し残っているだけで、周囲を明るく照らす事ができる。」

実は自分の日々の生活は大きな事によって左右されるのではなく、このようなわずかな違いが、月日が経つにつれて幸せな人生と不幸な人生との差をもたらすという意味であります。

小さな信仰の一つの習慣が、成功する人生を作り出し、失敗の人生をも作り出します。良い信仰の習慣一つを体に覚えこませれば、その人の人生は、今までとは違うものになるでしょう。

一日感謝しただけでも、その日は幸せで特別な人になります。しかし、感謝する事を訓練して感謝の習慣を身につける事ができるなら、間違いなくその人の人生は一生感謝し続ける、幸せなものとなると信じます。



ユダヤ人の人生読み本であるタルムードには、「世界で一番知恵のある人は学ぶ人であり、世界で一番幸せな人は、感謝しながら生きる人である」という言葉があります。

感謝しながら生きる人は、そうでない人よりずっと健康で幸せである事を表す言葉ではないでしょうか。実際感謝しない心と肉体は病気にかかりやすく、大体不幸を感じやすいです。

体は感情に敏感に反応するため、感謝すると心臓と脈が安定になり、胃腸(いちょう)の働きを助け、消化を促して気分や情緒までさわやかにさせるため、人はもっと健康になると言われています。

なので、感謝する人は癌や鬱病などいろんな病気から守られ、予防ができる大事な習慣の一つであります。

反対に習慣的に不平をよく言うことは、血液循環を妨げ、体を緊張させ、脈を速めると同時に、胃腸の働きを遅くさせ、胃に入ってくる食物の消化を拒否し、健康にも害を与えてしまうと言う事です。だから何かを持っている持っていないに関わらず感謝して生きる側が健康で幸せな人生を送る可能性がさらに高くなるのです。

ルヒルティという人は彼の著書「幸福論」で、「幸福の最初の条件は感謝である」と言いました。

幸せはどれほど持っているものに比例するのではなく、感謝する心に比例するものであるという意味です。幸福というのは、ないものに関心を寄せることではなく、あるもので満足することではないでしょうか。ある物を大切に思い、感謝する人が幸せな人生を送る事ができます。ないものに対する不平が、あるものに対する感謝に変わるときこそ、主にあつてまことの幸せな人生の始まりになると信じます。

<2. 感謝の言葉の意味>

それでは感謝の言葉の意味は何でしょうか。共に確かめて覚えておきましょう。

「感謝」表す英語はthankと、「考える」という単語「think」は、語源が一緒です。有名な哲学者であったマルティンハイデッガーは、「考えるということは感謝するということだ。」と言いました。また、イギリスに清教徒教会の壁には、「考えなさい。そして感謝しなさい。」という言葉が刻まれています。さらに興味深いのは、「考える」は「記憶する、覚える」の語源と関連しているという点ですが、ヘブル語で「ザハール(Zakhar)」です。ですから、「考え」、「記憶」、「感謝」は、同じ血筋にあたる兄弟のような言葉なのです。これをもとに、次のように定義をすることが出来ると思います。「感謝は、単純にその時、その時感じるありがたい気分の情緒(じょうしよ)的反応ではなく、考え、記憶する認識と意思の領域である」と言う事です。

この感謝の意味が今日の本文に出ていますが、今日の詩篇の本文に2節に“主の良くして下さった事を何一つ忘れるな。”という御言葉があります。ここで、感謝という意味は「神様が今まで良くして下さった事をすべてよく考えて、忘れないで覚えつつ御名をほめたたえる事」が聖書の感謝の意味である事がわかります。今まで歩んで来た人生を考え、神様が与えて下さった事を覚え、意識して感謝しなければならぬということです。しかし、大部分の人は見過ごしてその時感じるありがたい気分の情緒(じょうしよ)

的反応で感謝している時が多いので、最近あんまり感謝する事がないと思ってしまうのではないかと思います。今年中にも神様が今まで自分のために成して下さった事や、与えて下さった事を忘れていなければ、それをいつも覚えていたら、いつも感謝を忘れる事はないかも知れません。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！そして感謝する(thank)という言葉は、考える(think)という言葉は語源だと言いました。これはこのようにも解釈できるかも知れません。考えを変えさえすれば、感謝できないものはないという意味が含まれているのです。1969年、イスラエルの首相となったゴルダメイヤ女史(じょし)は、自分の自叙伝(じじょでん)で次のような告白をしています。“私は自分の顔が美しくないことを感謝する。私は不器量(ぶきりょう)なので祈り、不器量なので一生懸命勉強した。私の弱みは、この国にとって助けとなった。絶望は神様の召命を悟る機会となった。”彼女は首相として勤めた12年間、国民たちに知らせることなく白血病と闘いながら、職務を誠実に全うしました。弱気になるたびに神様に信頼し、どんなに辛い時でも、首相としてなすべき仕事を少しもおろそかにしなかった。神様が下さった大切な職務を、常に尊いものとして受け入れ、感謝の人生を送ったのです。一生感謝は神様がみなさんに与え、成して下さった事を忘れず、覚え、深く考えられるときこそ可能だと信じます。

<3. 一生感謝できない事はないです。>

心理学者アーニー・ゼリンスキーという人は感謝を妨げる心配について次のような研究結果を発表しました。

「心配の40%は、「決しておこらないこと」であり、心配の30%は、「すでに起こってしまった事」であり、心配の22%は、「取るに足りない事」であり、心配の4%は「私たちの力ではどうにもならない事」であり、後最後の心配の残り4%は、「私たちが変える事の出来る事」である。」という内容でした。

つまり心配したからと言って、私たちが解決できるものは何もなく、心配する必要がないということです。実は私たちは日常生活の中で、くだらない心配でくよくよしながら感謝もできず、忘れて人生を浪費している時が多くあるのではないのでしょうか。

“だから、明日のための心配は無用です。あずのことは明日が心配します。労苦はその日その日に、十分あります。(マタイ6:34)”この主の御言葉は将来の事、先の事によく心配したがる我々に心配するなということです。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！よく考えて見て下さい。

心配や問題が解決した時だけ感謝する事ができ、幸せであると錯覚すると、我々の生涯、感謝と幸せは手でつかむことのできない虹(にじ)となってしまうのではないのでしょうか。月日がたっても状況はなかなかすぐ変わらないものなのに、続けて自分の周りから感謝と幸せの理由を探しているうちに、人生は水のようにざっと流れていってしまうのではないのでしょうか。

だからこそ人生のすべての瞬間に、感謝できる事を探さなければならないのではないのでしょうか。

今あるすべての問題を解決して、平穏な状況が訪れるまで喜びと感謝を先延ばしにするなら、生涯、心配の森から抜け出すことはできないと思います。

みなさん、今自分には決して感謝する事がないのでしょうか。しかし、深く考えて見ると、感謝ができないことはないのです。

自分が何の努力もしていないのに、人の心臓は、一日10万回ほど鼓動(こどう)しています。体内の血液は、一日に約2億7千万キロメートルを流れ、一日呼吸(こきゅう)の数は2万3千回ほどであります。決して人がわざと努力して心臓が動き、血液を流しているわけではありません。肺は、黙っていても休まずに今も呼吸しています。

みなさん、これらすべてのことに、若干の狂いが生じると、それだけですぐに命に支障(ししょう)を来たしてしまいます。人が努力せずに心臓が動き、肺が呼吸をしてくれる事だけでも、神様の恵みに感謝すべき理由が我々にあるのではないのでしょうか。

電気代を細かく計算して見た事があるでしょうか。我が家の電気代は一ヶ月の平均で約6千円ぐらいで、一年では約7万円になります。しかし、365日、一日も欠かさずに利用している日光のさらされていることに日光の値段を、料金として計算するとどのくらいになるのでしょうか。神様が日光の値段を請求書にして渡されるなら、その使用料を払える人は果たしてどれぐらいいるのでしょうか。

神様が下さる太陽は、光だけでなく適度な温度も与えてくださり、これによって動物、植物は生きる事ができるのではないのでしょうか。しかし、神様が下さる日光代は、すべて無料であります。

病院で人工呼吸器を使って見た事がありますか。実は人工呼吸器の一日に使用料は約3万円ぐらいがかかるらしいです。ところが、私たちは、毎日3万円ほどの酸素を無料で吸っているのを考えた事があるでしょうか。神様から空気使用料の請求書を見せられたら、家を売っても払うことはできないでしょう。一生の間自由に酸素を吸わせてもらっているだけでも、十分に感謝の理由になるでしょう。

我々はよく考えて見ると、実は私たちにはただで与えられているものが、とてもたくさんあるのではないのでしょうか。恵みということばは、値なしに与えられるという言葉です。実は私たちに命や救い、自然、水や空気、太陽など信仰まで、神様から恵みとしてただで受けています。

それでも私たちは感謝する事が自分にはあんまりないと言いながら、もっと自分の基準での感謝できる欲を持っているのではないのでしょうか。欲の眼鏡をかけた目には足りない物ばかりしか見えないかも知れませんが、感謝の眼鏡をかけると、値なしで頂いているものばかり見えてくると信じます。

次の「今あなたには感謝すべき理由がある」という文を読んだ事があります。

「もし今あなたの家に電気がつながっていれば、この世で電気の恵沢(けいたく)もなく生きている20億を超えている人々より感謝すべし理由があなたにはあるのだ。

もしあなたの家に水道の施設ができていたら、そうではないためどんな汚い水でも飲まなければならない10億を超える人々よりあなたは感謝すべき理由を持っている人だ。

もしあなたが一日一食でも食べれるなら、8億以上の栄養失調(えいようしっちょう)で苦しんでいる人たちより感謝すべき理由があるのだ。

あなたが一日100円以上で使える事ができるなら、今日も100円未満で生きている12億の人々たちより感謝すべき理由があるのだ。

もしあなたが今日の朝目を冷めた時病気でなく、元気だと感じる事が出来たなら、あなたは今週生き残る事が出来ないであろう百万人の人々より感謝の理由を持っている人だ。

もしあなたが戦争の危険や投獄される孤独や苦しみ、あるいは飢えの悲痛を一度も経験したことがないなら、あなたは世界の5億人の人々より感謝の理由があるのだ。

もしあなたがしつこく苦しめられる事や逮捕拷問(ごうもん)または死の恐怖を感じる事なしに、教会に行く事が出来るなら、あなたは世界の30億人の人々よりあなたには感謝すべき理由を持っているのだ。

もし冷蔵庫(れいぞうこ)に食料があり、着る服があり、頭の上に屋根があり、寝る場所があるなら、あなたは世界の75%の人々より裕福で恵まれている人だ。

もし銀行に預金(よきん)がありお財布にお金があり家のどこかに小銭(こぜに)を入った入れ物があるなら、あなたはこの世界の中で最も裕福な上位8%のうちの人である。

もしこの聖書を読む事ができるなら、あなたはまったく文字の読めない世界中の20億の人々よりずっと感謝の理由がある人だ。」

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！幸せは持っている所有に比例(ひれい)するのではなく、感謝に比例します。自分の人生のすべてのことが感謝として受け止めれば、それに比例して幸せも大きくなるのです。

<4. どうやって一生の感謝ができるか？:ゼロ感謝！！>

ではどのようなことに感謝ができるのでしょうか。お金をたくさん稼いだ事、持っている家が何倍にも値上がった事や商売がうまくいくこと、良い学校に進学したこと、職場に就職できたこと、子供がよく育っていることなどは、すべて感謝する対象になりますが、聖書は、このような感謝はナンクリの人々でも、誰にもできる感謝だと言っています。

イギリスのある記者が有名な劇作家であったパーナード・ショという人を訪ね、次のように質問をしました。

“世界のすべての本が燃えても、残さなければならぬ本があるとしたら、それはどんな本だと思いますか。”

すると、彼はこのように答えたそうです。

“旧約聖書の中にあるヨブ記でしょう。ヨブは持っていたすべてのものを失い、貧しくなっても、病気になっても、子供たちを失っても、自分に一人しか残らなかった妻さえも裏切っても、それでも感謝を失われず、神に感謝ができる人だったからです。”

聖書には2930人ほどの多くの信仰の人物たちが出ていますが、神様がサタンの前で人柄を二度もほめて下さった人物が、ヨブのほかにはいません。彼が持っていた財産は想像できないほど多く、10人の子供にも恵まれていました(ヨブ1:3)。何一つ持っていないものはありませんでした。しかし、ある日突然彼の人生に理由も知らないままひどい災難が訪れ始めます。莫大な財産は一瞬にしてなくなり、10人の子供たちを一日でみんな失ってしまいました。さらには自分の健康まで病気を受け、信頼していた妻にまで、神を呪って死ねよ！と言われながら離れてしまったのです。

理由も分からないまま、財産、名誉、健康、家族、友達などすべてを取り去られるという惨めな人生の時をヨブは体験しました。

しかし、ヨブは揺るがなかったです。彼は最後まで挫折することなく、忍耐して自分の信仰を硬く守り通しました。彼は自分の大切な全てを失う悲劇の瞬間にあっても、むしろ神様を賛美し、感謝を捧げていました。

「地にひれ伏して、(神に)礼拝し、そして言った。私は裸で母の胎から出て来た。また、裸で私はかきこに帰ろう。主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。ヨブはこのようになっても罪を犯さず、神に愚痴(ぐち)をこぼさなかった」(ヨブ1:20-22)

ヨブの感謝は無条件の感謝そのものでした。なぜこういう事ができたのでしょうか。

「主は与え、主は取られる。主の御名をほむべきかな」

ヨブは神の前での自分はしばらくあった地上でのものすべてはただ神様からのものですから、いつかかならず神様に全部返さなければならぬ、つまり、神の前で自分のものは何もないゼロの人生である事を忘れていなかったからゼロの感謝、無条件の感謝ができたのではないのでしょうか。そのため一生感謝ができたと思えます。

ヨブは自分のすべてのものを神様に完全に明け渡していました。

ゼロの人生、ゼロの感謝！を悟った心から悟り、認めた瞬間、一生の感謝の人生が本格的に始まると信じます。

愛するみなさん、今自分が持っていて、使っている物は本当は自分の物ではない。生きている間しばらく借りて使っているだけではないのでしょうか。ゼロの感謝は、すべてが感謝の対象になるようにさせます。服一枚、ご飯一食、靴一足、本一冊、コーヒー一杯、短い休息の時間にも感謝するようになるでしょう。ゼロの感謝は、すべてを神様から頂いたと認める謙遜なところなのです。

愛するみなさん、金持ちが感謝できるのではなく、心が神の御前で謙遜な人のみが感謝する事ができるのです。

なので、感謝は謙遜な人々に下さる神様からの贈り物に間違いありません。

“すべての事について、感謝しなさい。これがキリストイエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。”(第一テサロニケ5:18)

<5. 最高の感謝>

では、私たちがささげることのできる最高の感謝とは何でしょうか。

それは、自分を救ってくださった神の恵みに感謝する事です。神様が私たちに救いを贈り物として与えて下さったからです。

“あなたの神、主は、あなたのただ中におられる。救いの勇士だ。主は喜びをもってあなたのことを楽しみ、その愛によって安らぎ

を与える。主は高らかに歌ってあなたのことを喜ばれる。(ゼパニヤ3:17)”

我々に死から永遠の命に移されたことよりもすばらしい奇跡が、尊く、価値のある贈り物が他にあるでしょうか。神様が一人子イエス・キリストを送られ、私たちのすべての罪を贖ってください、罪と絶望の中にいた私たちを希望の中に導いてくださった事を！だからこそ私たちは、イエス様の十字架を見上げて感謝しなければならないのです。これがすべての感謝の基本であり、始まりであります。真の救いの感謝を悟れず、滅びに向かっている人が、どれほど置くの財産があり、名誉を得たとしても、何の意味があるでしょうか。

救いの恵みに対する感謝は、決して忘れてはならない、他のどんなものとも比較できない、最初にすべき感謝であります。今年も人生のいろんな問題に、あるいは今も、苦しんでいる方がいますか。

もしそうなら、原点に戻って神の贖いの恵みの事を考え、最初の感謝を回復する時であります。

“神が作られた物はみな良い物で、感謝して受けるとき、捨てるべき物は何一つありません。”(第一テモテ4:4)

アメリカを建国(けんこく)した清教徒(せいきょうと)クリスチャンたちはささげものについて二つの責任を強調しました。一つは、神様に感謝を捧げるべき責任であり、もう一つは、困っている隣人に分け与えるべき責任だったのです。そのためする、清教徒クリスチャンたちが建国したアメリカでは、富を社会に還元(かんげん)する国の始めの時から寄付の文化が定着されている事が分かります。ビルゲイツ、パフエジット、カーネギー、ロックフェラー、ヘンリフォードなど、私たちがよく知っている人たちは、お金を稼いだけだけではなく、それを豊かに分け与えた人たちでもっと有名な人たちです。彼らは、自分たちに財産を築き上げさせてくれた教会の家族や市民のために感謝の心を表して、教会や地域の福祉施設である図書館や学校、孤児院、老人ホームなどを建てて、その恩に感謝を表したのです。それはすべてアメリカの国が始まるごろの清教徒クリスチャンたちが神様に2つの責任を保った事が国の根本と土台になったから今日までその信仰と精神が流されているのではないのでしょうか。

我々にも同じ責任が与えられています。神様に感謝を捧げるべき責任、そして困っている隣人に分け与える責任です。

その責任を果たしているうちにいつの間にか自分自身が、家族が、教会が、この町、この国が変わって行くと信じます。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！

私たちには感謝できない理由はありません。これから、改めて一生感謝の人生を送るため、神様の前で改めてゼロ人生、ゼロ感謝を悟って認めましょう。共に主にあって一生感謝しつつ共に歩みませんか。願わくはクリスチャンプレイズ家族もみんな今年もすべてを感謝で閉じ、感謝で新しい新年を新しくスタートできるように切に祈り祝福します。今回を通してCPC神の家族みんなに消す事ができない“一生感謝！”という信仰が心にちゃんと刻まれ、その言葉通りにの残りの人生、ますます感謝がみなさんの人生を覆ってくださいますように主イエスキリストの御名を通して祈ります。アーメン！